

電 波 時 計

(回転飾り付置時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正

製 造
発 売 元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

<http://www.rhythm.co.jp>

もくじ

ページ

1. 安全にお使いいただくために、はじめにお読みください	3
2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）	4
3. 電池・時計の廃棄	4
4. お手入れについて	4
5. 電波時計について	5
■ 電波時計とは	■ 海外でのご使用について
■ 標準電波とは	■ 電波の受信範囲について
■ 標準電波の送信停止について	
電波を受信しにくい環境	
6. 各部の名称と役割	6
7. ご使用方法	7, 8
受信の流れ	設置について
報時機能の設定	明暗センサーのはたらき
8. 標準電波を受信できない場合	9
手動での時刻合わせ	
電波受信機能のON/OFF切り替え操作	
9. 電池の交換時期お知らせ機能について	10
10. おもな製品仕様	11
11. アフターサービスについて	12
お問い合わせ先	

1. 安全にお使いいただくために、はじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○ 禁止（してはいけないこと）を示しています。

● 指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池を充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

禁止 電池から漏れた液に素手でふれない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

禁止 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

分解禁止 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

必ず守る 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

禁止 ぬれた手でさわらない
さびの発生や故障の原因になります。

禁止 下記のような場所では使わない

精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器などの風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

- 指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

3. 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別してください。

4. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

5. 電波時計について

■ 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

■ 標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

■ 標準電波の送信停止について

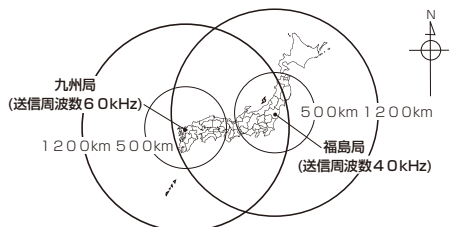
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

■ 海外でのご使用について

日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

■ 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

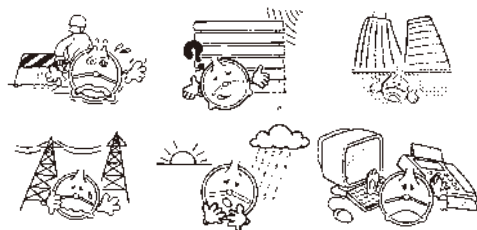


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

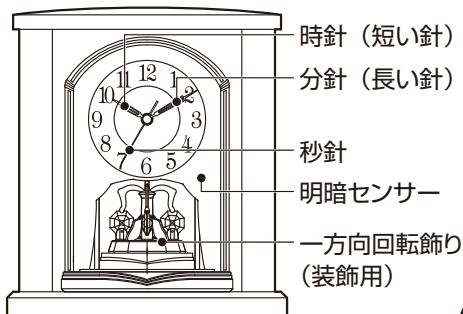
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



6. 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



(同一機能商品の例)



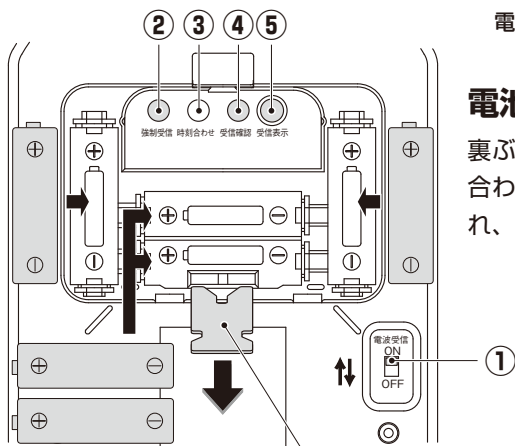
明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止します。

※昼間や夜間照明時でも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

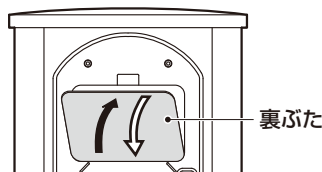
※十分に明るい所で秒針が止まっている場合は、電池の交換が必要なことを表しています。「9. 電池の交換時期お知らせ機能」(p.9) 参照。

- 時針・分針の動き
自動修正：早送りや停止することがあります。
通常表示：10秒単位に動きます。
- 秒針の動き
自動修正：早送りで順方向に動きます。また、12時位置に停止することがあります。
通常表示：1秒ステップで動きます。



電池の入れかた

裏ぶたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖に合わせて単3形アルカリ乾電池を4個を入れ、裏ぶたを取り付けます。



回転飾り押さえを取る
*使用していない商品もあります。

↓ 取る ↑ 取り付ける

- ①電波受信スイッチ 電波受信機能のON/OFF切り替えます。
- ②強制受信ボタン 電池を入れた直後に押します。
- ③時刻合わせボタン 手で時刻を合わせるときに使用。 **不用意に押すと時刻が変わります。**
- ④受信確認ボタン 押すと受信結果を受信表示ランプでお知らせします。
- ⑤受信表示ランプ 受信状態や受信結果を点灯、点滅、消灯でお知らせします。

7. ご使用方法

手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** (p.9) を参照してください。

電波を受信しやすい窓際に置いてください。

- ① 電波受信スイッチをONにする
- ② 裏ふたを取る
- ③ 回転飾り押さえを取る (使用していない商品があります)
ご使用になるときは必ず取り外してください。輸送するときには機構を保護するため、取り付けてください。
- ④ 電池ホルダーの \oplus \ominus 表示に合わせて電池を入れる
⚠ 注意 電池の \oplus \ominus を逆向きに入れると電池の発熱、破裂、液漏れの原因になります。

⑤ 強制受信ボタンを押す

- 針は止まったままですが故障ではありません。
- 受信中はボタン操作をしないでください。

⑥ 15分待ってから受信確認ボタンを押す

- 受信が終わると針が動き出します。

受信表示ランプ

受信成功：5秒間点灯

正しい時刻

受信失敗：5秒間点滅 (5回点滅) 不正確な時刻

⑦ 裏ふたを取り付ける

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて**強制受信ボタン**を押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

設置について

- 転倒や落下を防ぐために時計は振動の少ない水平で安定した所に置いてください。
- 傾くと回転飾りが止まることがあります。

受信の流れ

電池を入れて
強制受信ボタンを
押します

受信開始



電波読取中



1秒に1回点滅

受信終了



受信表示ランプが点滅しないで消灯したときは、標準電波を検出できませんので、設置場所を変えてください。

受信結果を確認

押す



受信確認ボタン

5秒間点灯



受信成功

5秒間点滅



受信失敗

8. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、**手動で時刻を合わせて使用してください**。受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ…受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動修正します。

操作 ○時刻合わせボタンを押してすぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

秒針は時刻合わせボタンを押し続けている間、12時位置に止まります。

時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒になります。

電波受信機能のON／OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波受信スイッチをOFFにしてください。標準電波を受信しなくなります。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

○受信に成功した状態で、電波受信スイッチを「OFF」にすると24時間以内は、受信確認ボタンを押すと、受信表示ランプが点灯することがあります。

○電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときには、電波受信スイッチが「ON」のときと同様に受信ランプが点灯して、針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。

9. 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になりますと、明るい所でも秒針が12時位置に停止します。時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[※]時刻を表示し続けますが、早めに電池を交換してください。

注) ご使用状態によりこの期間は前後します。

⚠ 注意 電池は早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても2年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



10. おもな製品仕様

時 間 精 度	標準電波受信成功直後の表示精度
	秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しないとき
	平均月差±20秒 (温度が5～35℃のときのクォーツ精度)
使 用 温 度 範 囲	-10～50℃ *結露しないこと
使 用 電 池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 4個
電 池 寿 命	約2年
	標準電波の受信に成功して、1日当たり7時間秒針が暗所で停止しているとき
標 準 電 波	標準電波を受信して時刻を修正
受 信 局	福島局/九州局 自動選択
受 信 回 数	最少1回/日、最多12回/日 *受信状態により変化
受 信 開 始 時 刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分40秒
	*2時16分40秒は、必ず行う
	受信が72時間以上できない場合は、奇数時の16分40秒に受信を行う。
受信ON/OFF切替	スライドスイッチ
暗 所 秒 針 停 止	明暗センサーと連動
電 池 の 交 換 時 期	秒針が常時12時位置に停止
お 知 ら せ 機 能	
回 転 飾 り	一方向回転 *装飾用

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 4個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

11. アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。
例 4RY○○○

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

R152-QXXW
(Y1310)